

看護学コース(1日コース)

メインテーマ

ケアに活かそう!ユマニチュード® 講座

[受講料] 10,000円(税込)
(研究協力会会員は5,000円)

[開講日] 令和3年11月13日(土)

[開講時間] 9:00 ~ 17:00

**[場所] 富山県立大学富山キャンパス
教育棟4階405実習室**

[申込締切] 令和3年9月30日(木)

[定員] 30名

受講者が準備するもの

動きやすい服装・靴、昼食、飲料
(大学内の食堂は営業していません)

カリキュラムの趣旨

こんな方におすすめ!

看護学生の臨地実習を受け入れている病院および老人保健施設等に所属する「医療・保健・福祉の公的資格を持っている専門職」の方

本学の看護学教育に取り入れている「ユマニチュード」は、フランス発祥の知覚・感情・言語による包括的コミュニケーションに基づいたケア技法です。ケアを受ける人だけでなく、ケアをする人にとっても優しいケア技法であるユマニチュード。ユマニチュードとはなにか、講義や演習から理解を深めていくことで人に優しいケア技法を身に付けていく講座です。

日頃のケアに難しさを感じていませんか?ユマニチュードの哲学を学び、ケアを受ける人への見方、話し方、触れ方を少し変えてみることで、優しさが伝わるケアになり、心地よさを提供することができます。一緒にユマニチュードを学んでみませんか。

カリキュラム

時間	テーマ	担当講師	場所
9:00 ~ 9:10	はじめに(開講挨拶)	岡本 恵里 教授 (看護研究・地域連携科長)	富山県立大学 富山キャンパス 教育棟4階 405実習室
1 9:10 ~ 10:20	ユマニチュードの哲学「優しさを伝えるケア技術」	[外部講師] 株式会社エクサウィザーズ ユマニチュード認定インストラクター 林 紗美氏	
2 10:30 ~ 12:00	ユマニチュードのケア技法「4つの柱・5つのステップ」	[外部講師] 株式会社エクサウィザーズ ユマニチュード認定インストラクター 金沢 小百合氏	
3 13:30 ~ 14:50	ユマニチュード実践から学ぶ	[技術指導] 林 紗美氏、金沢 小百合氏 [ファシリテーター] ユマニチュード 認定インストラクター 青柳 寿弥 講師 (老年看護学)	
4 15:00 ~ 15:50	ユマニチュードの哲学「職業人」	林 紗美氏	
5 16:00 ~ 16:50	これまでのケア・これからのケア	木谷 尚美 准教授(老年看護学) 杉山 由香里 講師(精神看護学)	
16:50 ~ 17:00	おわりに(閉講挨拶)	竹内 登美子 教授(老年看護学)	

特記事項

- COVID-19の状況等によりオンライン講義となる可能性があります。その際は、ご自宅等での受講になりますのでZoomに対応した環境(パソコン、マイク、ウェブカメラ)をご準備ください。詳細は募集要項21ページをご覧ください。
- オンライン講義となった場合、資料は事前に郵送いたします。

コース概要

看護学コース(1日コース)

講義・演習

講師と講義内容の紹介



株式会社エクサウィザーズ
看護師
認定インストラクター

[講師] 林 紗美



株式会社エクサウィザーズ
看護師
認定インストラクター

[講師] 金沢 小百合



富山県立大学看護学部
老年看護学講座講師
認定インストラクター

[講師] 青柳 寿弥

ユマニチュードの哲学「優しさを伝えるケア技術」

キーワード

ユマニチュードの哲学

[講義内容]

「ケアをする人とは?」というユマニチュードの基本哲学。ユマニチュードの生まれた歴史、大切にしている価値観から、ケアをどのように考えて、技術をどのように組み合わせて使うのかについて学びます。

ユマニチュードのケア技法「4つの柱・5つのステップ」

キーワード

4つの柱
5つのステップ

[講義内容]

人をケアする職業人(プロフェッショナル)として、大切にしている価値観を実現するために、私たちはケアを通して何を届けるのか、相手に理解できる形で届ける技術を学びます。

ユマニチュード実践から学ぶ

キーワード

マルチモーダル
コミュニケーション

[講義内容]

実際にケアが必要な方と出会ったとき、普通のケアにどのようにユマニチュードのケア技法を取り入れることができるのか、実践を通して学びます。

ユマニチュードの哲学「職業人」

キーワード

ユマニチュードの哲学
職業人

[講義内容]

哲学がないとケアの現場で何が起これるのでしょうか。なぜ哲学は必要なのか、そして、職業人(プロフェッショナル)として日常のケアをどのように考えるのかについて学びます。

これまでのケア・これからのケア

キーワード

ケアの探求

[講義内容]

普通のケアを振り返り、職業人(プロフェッショナル)としてのケアとはどのようなケアなのか、これからのケアの可能性について受講生と共に考えていきます。